

胃癌の治療法

PDQ 日本語版

下表は、[米国国立癌研究所\(NCI\)](#)の情報を[がん情報サイト Cancer Information Japan](#)が日本語に訳したPDQ日本語版の要約です。

	0期	I期とII期	III期	IV期	再発
外科療法		亜全摘術、全摘術、術後化学放射線療法	根治的手術、術後化学放射線療法	根治的手術、術後化学放射線療法	
緩和療法				化学療法、レーザー内視鏡療法、ステント、放射線療法	化学療法、レーザー内視鏡療法、電気メス、放射線療法
評価段階		術前補助化学放射線療法	術前補助化学放射線療法	術前補助化学放射線療法	

症状緩和に使われる抗がん剤

- ・フルオロウラシル
- ・FAM (フルオロウラシル、ドキソルビシン、マイトマイシンC)
- ・FAP (フルオロウラシル、ドキソルビシン、シスプラチン)
- ・ECF (エピルピシン、シスプラチン、フルオロウラシル)
- ・ELF (エトポシド、フルオロウラシル、ロイコボリン)
- ・FLAP (フルオロウラシル、ロイコボリン、ドキソルビシン、シスプラチン)
- ・PELF (シスプラチン、エピドキソルビシン、ロイコボリン、フルオロウラシルにグルタチオンおよびフィルグラスチムを併用)
- ・FAMTX (フルオロウラシル、ドキソルビシン、メトトレキサート)
- ・FUP (フルオロウラシル、シスプラチン)

がん患者のあきらめない診察室

- ・タキソール内包ポリグルタミン酸 (Xyotax)

最終更新時間：2005年04月28日23時55分58秒